



【家庭系廃棄物分別促進モデル事業合意文書への署名式の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 1 月 27 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

ベトナム・ダナン市で都市開発 フォーラムを実施しました

12月23日に、第5回ダナン都市開発フォーラムをダナン市において開催しました。

横浜市とダナン市は、JICAの支援のもと、過去4回のフォーラムを通じて、ダナン市の持続可能な都市発展に向けたアクションプランを策定しました。

今回のフォーラムでは、このアクションプランの実現に向けて、関山国際局長が講演を行い、横浜市とダナン市、市内企業をはじめとした12社、世界銀行、JICAを交えて活発な議論が交わされました。ダナン市長への表敬訪問では、今後の2都市間の連携について意見交換を行いました。

参加企業は、ダナン市高官との面会や現場視察（漁業や水産加工業の拠点開発、鉄道移設に伴う再開発、建築物の省エネ）を通じて、ビジネス展開の可能性を探る機会となりました。

Y-PORT事業では、今回のダナン市に続き、フィリピン国セブ都市圏等において、現地調査及びビジネスマッチング第2弾を実施します。



JICA 草の根技術協力事業「家庭系廃棄物分別促進モデル事業」の合意文書に署名しました

12月23日に開催された第5回ダナン都市開発フォーラムにおいて、横浜市、ダナン市、IGES、JICAの4者による、JICA草の根技術協力事業「家庭系廃棄物分別促進モデル事業」の合意文書への署名式が行われ、横浜市からは、資源循環局長が署名を行いました。

ダナン市においては、急増するごみ量と廃棄物最終処分場の不足への対応が課題となっており、この事業を通じて、横浜市がこれまで培ってきた、ごみの分別の仕組み作りや広報・啓発のノウハウを提供しながら、ダナン市民によるごみの分別とリサイクル技術の促進を図っていきます。

また、廃棄物関連の市内企業を現地に派遣し、廃棄物の収集・運搬やリサイクル技術等をPRしていただくことを契機に、市内企業による海外ビジネス展開を後押ししていきます。



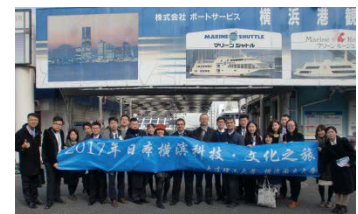
(廃棄物最終処分場 視察の様子)

大連理工大学横浜研修団が横浜を訪問しました

1月19日に、横浜国立大学の招聘で来日している、中国の大連理工大学横浜研修団の皆さまが横浜市を訪問しました。

今回は3回目となる来浜で、大連理工大学の特別コースで、専門課程を日本語で学んでいる学生の皆さんをお迎えし、観光船マリンシャトルで横浜港を視察していただきました。

国際局の国際政策部担当部長からの歓迎挨拶に続き、港湾局の職員から、横浜港と友好港提携を行っている大連港と、職員の相互派遣を通じて、港湾整備、経営等に関する技術やノウハウの交流を深めていること、港の概要について説明がありました。



(研修団のみなさん)



(横浜市職員より説明)